

ビデオ (VHS) 一覧表

平成25年9月4日現在

番号	題名	所要時間	内容(概要)
1	にんげんをかえせ	20分	10フィート映画運動作品。アメリカに眠っていた原爆によるヒロシマ・ナガサキの惨劇の跡を撮影したフィルムを、市民の手で入手した広島・長崎のフィルムと被爆者の証言で構成。原爆投下直後の市街地や人々の様子、悲惨な状況を伝える貴重な記録映画。
2	海 ～いまトマホークが～	13分	10フィート映画運動作品。核巡航ミサイル「トマホーク」が、日本に出入りする米軍の艦船に積まれている。日本の海が危ない。核巡航ミサイルとはなにか、「トマホーク」とはなにか。むずかしい解説ぬきで、目で見てすぐ理解できる映像。
3	増大する放射能	9分	牛、馬、犬、うさぎなどの動物を使った模擬実験フィルムを通し、中性子爆弾の恐ろしさを訴える。
4	悪魔の火球・明日への伝言	11分	・悪魔の火球(3分30秒)—昭和20年8月9日午前11時2分、人類第二の原爆が長崎に投下された。炸裂する火の球、異様なキノコ雲—米軍観測撮影機がとらえた悪夢の一瞬である。 ・明日への伝言(7分30秒)—原爆記録映画「にんげんをかえせ」[C1165]の予告編として作られたもの。全編に流れる歌声が美しく哀しい。
5	歴史 ～核狂乱の時代～	116分	10フィート映画運動最終作品。原爆製造マンハッタン計画を紹介しつつ、第2次大戦からベトナム戦争を経て、今日のMX、パーシングII、SS20の配備の実態をめぐり、同時に日・米・南太平洋の被爆者の苦しみ、怒り、そして行動を描きます。
6	戦争 ～子どもたちの遺言～	53分	過去の戦争、特に空襲による破壊と死をふりかえりながら、皆殺し戦争を告発し、今日の核狂乱の時代に警鐘を鳴らす映画。広島原爆資料館、ポーランドのアウシュビッツ博物館などの新撮フィルムと、東京大空襲を描いたアニメーションを組み合わせたユニークな作品。戦争の犠牲者はいつも子どもたちだった…53分の映像がそう語る。
7	世界の科学者は予見する核戦争後の地球(第1部) 地球炎上	30分	全面核戦争から一週間の地球の惨状を描く。世界の主要都市に1メガトンの核が落ちたらどうなるかを想定し、核の破壊力を映像化。シミュレーションによると核の20%が使われたら約25億人が即死するという。イタリア賞受賞。
8	世界の科学者は予見する核戦争後の地球(第2部) 地球凍結	30分	核戦争から約100年後まで影響する地球の環境変化を描く。死の灰が全世界に拡散し、長期的に人類や生態系に影響を及ぼすとともに、地球は「ニュークリア・ウィンター」に襲われる。イタリア賞受賞。
9	かよこ桜の咲く日	60分	「かよこ桜」と呼ばれる桜並木は、原爆で娘を失った母親が、桜が好きだった娘さんをしのんで約50本の苗木を寄贈して植えたもの、と知った黒木監督は、さっそく母親を訪ねます…
10	炎の証言 ～これが空襲だった～	21分	空襲や学童疎開など第二次世界大戦中の国民生活の様子を描くとともに、浜松、高松、姫路の空襲体験者の証言による生々しい空襲の様子を紹介。
11	ヒロシマから子どもたちへ(1) ヒロシマ	22分	平和学習ビデオシリーズ1巻・ヒロシマ。広島にある放送局などが所蔵する記録フィルムや原爆資料館の協力を得て収録、展示されている原爆被災資料をビデオにおさめ「ヒロシマ」を案内。
12	ヒロシマから子どもたちへ(2) ヒバクシャ	22分	平和学習ビデオシリーズ2巻・ヒバクシャ。被爆40周年を迎える被爆者たちが、固くごさしていた口を開き、日本中の若者たちに向けて「戦争と平和」を語りはじめた感動的な記録。
13	ヒロシマから子どもたちへ(3) 炎のなかに”げんばく”をみた	24分	平和学習ビデオシリーズ3巻・炎のなかに”げんばく”をみた。「戦争を知らない子どもたち」が、原爆瓦の発掘運動などをおして戦争を見たり、学んだり、そして平和の担い手として自覚していく姿を描く。
14	記録映画 小さな証言者たち ～子供の目に映った戦争～	20分	1946年にポーランド教育省が、ナチスの残虐の歴史を記録に残そうと全国の小学生に呼びかけ、集められた絵と作文によって構成された作品。原作は画集「子どもの目に映った戦争」
15	記録映画 沖縄戦 ～未来への証言～	55分	沖縄戦の実写フィルムと現在の沖縄米軍基地の映像をもとに、「オキナワ問題」の推移を追いながら問題提起をも行う作品。記録映画。
16	働く子どもたち ～私たちの声をきいて！ブラジルの児童労働～	35分	ブラジルで働く4人の子どもたちが、仕事場や家族を紹介し、大人への批判や将来の夢を大いに語る！「児童労働」を見つめるドキュメンタリー。
17	ナチ絶滅収容列島	32分	
18	21世紀へのメッセージ(非核アニメ)	18分	非核平和都市宣言2周年を記念して、品川区が製作。原始時代から現代まで歴史をたどり、今日の繁栄が多くの犠牲と努力の上に築かれたこと、現在の平和を維持するために私達が何をしなければならぬかを考えさせる。
19	がれきのにほんれっとう 広島・長崎編	65分	米国公文書館保存のカラーフィルムを編集。広島・長崎の被爆の様子をむき出しに見せつけ、冷酷なカメラ・アイに目をそむけなくなる場面も多い。背後に子どもの作文を流す。
20	がれきのにほんれっとう 主要都市編	70分	第二次大戦末期日本列島を焦土と化した空襲被災の記録を、米国ワシントン公文書館に保存されていたカラーフィルムから選択し製作編集したもの。各地の主要都市に加えられた空襲のすさまじさと、生き証人たちの語るなまなましい証言が、戦争という巨大な悪を告発する。

ビデオ (VHS) 一覧表

平成25年9月4日現在

番号	題名	所要時間	内容(概要)
21	はだしのゲン(アニメ)	85分	広島に住む少年(ゲン)とその家族は、原爆投下で父、姉、弟を失う。生き残ったゲンと母は様々な困難や苦しみにめげず、敗戦を迎えた日本・広島焼け野原の中で、必死に生き抜いていく姿を感動的に描いている。感動のアニメ作品
22	はだしのゲン2(アニメ)	90分	はだしのゲンの続編。原爆投下・終戦から3年。原爆の爪あとが残る広島で、小学4年生になったゲンを中心に原爆孤児たちが廃墟の中で明るく生き抜いていく姿を描いている。人間愛とたくましく生きる力、平和への願いを強く訴えている。感動のアニメ作品
23	戦場ぬ童	26分	沖縄戦40周年を記念し、沖縄戦の実態を戦争を知らない世代に伝え、今日の基地の島沖縄を見つめるドキュメント。米軍が撮影した沖縄戦の実写フィルムと、今日に残る戦跡と基地化の実態を記録したフィルムで構成し、反戦平和を訴える。
24	黒い雨にうたれて(アニメ)	90分	アニメ映画「はだしのゲン」の原作者・中沢啓治が企画・原作・製作した反核テーマの劇場アニメ。昭和20年8月6日。広島に投下された原子爆弾は、爆発後も放射能を含んだ黒い雨を降らし続けた。その影響は、被爆した人の子供、そのまた子供へと、人々の体に浸透する。そして終戦から数十年、今なお原爆の後遺症に苦しむ人は無数にいた…。
25	ぼくのいる街 ～写真集「銀座と戦争」より～	23分	10分映画！運動第1回作品。銀座空襲の貴重な写真と今日の繁栄を対比させ“いま”を問います。
26	君知ってる？首都炎上 ～アニメ東京大空襲～	18分	1945年3月10日の米軍機による東京大空襲は、一夜にして10万人以上の尊い生命を奪った。辛うじて生き残った3人の体験者がその惨状を語る。
27	がれきのにほんれっとう 主要都市編	70分	第二次大戦末期日本列島を焦土と化した空襲戦災の記録を、米国ワシントン公文書館に保存されていたカラーフィルムから選択し製作編集したもの。各地の主要都市に加えられた空襲のすさまじさと、生き証人たちの語るなまましい証言が、戦争という巨大な悪を告発する。
28	がれきのにほんれっとう 広島・長崎編	65分	米国公文書館保存のカラーフィルムを編集。広島・長崎の被爆の様子をむき出しに見せつけ、冷酷なカメラ・アイに目をそむけなくなる場面も多い。最後に子どもの作文を流す。
29	裸で狼の群れの中に	80分	第二次大戦末期、ドイツの強制収容所アウシュビッツに、一人の幼い子供が秘密裏に運び込まれてきた。囚人たちはその子を守る決意を固め、ドイツ人の拷問にも口を割らなかった…。
30	灯は生きていた	80分	被爆2世の青年を主人公に、ヒロシマ、パリ、ワルシャワを舞台として、「ノーマリア・ヒロシマ」「ノーマリア・アウシュビッツ」を描き出す。日本・ポーランド合作映画。監督:阿部野人 一部スーパードキュメンタリー
31	侵略 ～ヒトラーの侵略編・マッカーサー報復攻撃編～	32分	
32	路上の子どもたち ～ブラジル・ストリートチルドレンの闘い～	50分	700万人の子どもが路上で暮らしているブラジル。1日1人以上の子どもが殺され、2分間に1人が飢えてこの世を去る。都市の厳しい現実の中で、生き抜くための熾烈な闘いを続けるストリートチルドレンの生の声と、さまざまな関係者のインタビューなどを収録。
33	ベトナムせんそう ①8月15日	45分	
34	記録なき青春	80分	ヒロシマの街に燃えつきつつかの間の青春。それは被爆2世の平和への叫び声。ひとつの愛の結末を通じて戦後の平和と繁栄を問題として描く映画。出演は、田村正和、真理アンズ、永井智雄ほか。
35	おれたちのビー玉 ～川崎大空襲～(アニメ)	24分	川崎は京浜工業地帯の中心であったために、米軍の爆撃目標の一つであった。昭和20年4月15日の川崎大空襲。空襲の惨状と当時の子どもたちの仲間のつながりを通して明るくたくましく描いている。
36	シベリアの60万人 ～強制収容所の生と死～	50分	厳しい生活を強いられたシベリアでの抑留体験を、生存者へのインタビューや当時の映像、ロシア側の資料も交えて紹介する。
37	戦没者への鎮魂歌 ～語りつぐ戦争体験～	25分	無謀な太平洋戦争は、昭和16年12月8日に開戦し、戦局は中国、東南アジア全域、太平洋諸島にまで拡大され、消耗戦へと突入していった。このビデオは大戦中にうけた悲惨な体験をつづった記録をもとに作られたものです。一枚の召集令状・赤紙、出征兵士を送る家族の心の動き、戦友の死、学徒出陣、学童疎開、特攻隊の撃、沖縄戦の惨状、日本本土大空襲、灰じんと帰した街、原子爆弾の投下、極寒の地シベリア抑留…
38	炎の証言 ～戦争と子どもたち～	25分	戦争は、大人たちだけの戦いではありません。空襲で死亡した子どもたち。戦火を逃れ、親元を離れての学童集団疎開。軍需工場での勤労動員。そして、戦場に散っていった少年兵… 両親や兄弟を失い、混乱の焼け跡を一人でけなげに生きぬいた孤児たちもいました。太平洋戦争は、子どもたちも巻き込んでいったのです。このビデオは、戦争の時代を体験した子どもたちの証言です。
39	炎の証言 ～戦争と女性たち～	25分	300万人を超える犠牲者を出した太平洋戦争。父、夫、息子を戦場に送り出し、女性たちはどのように生きていたのでしょうか。多くの血と涙を流し、苦渋と嗚咽の連続の中で生きてきた女性史の断片です。
40	七都県市環境フォーラム ～21世紀の地球に残せるものは・日本人として、地球人として～	40分	七都県市環境フォーラム(開催日:平成6年6月24日/会場:パシフィコ横浜メインホール)の記録 第1部:環境ジャーナリストtalk-in 第2部:スライド～七都県市住民の環境保全への取り組み～ 第3部:パネルディスカッション～地球家族の役割分担・私たちにできること～

ビデオ (VHS) 一覧表

平成25年9月4日現在

番号	題名	所要時間	内容(概要)
41	予言	42分	10フィート映画運動作品。広島・長崎で新たに入手した写真やアメリカの核実験場の映像を駆使し、現代を冷静に捉え、地球の未来を予言した作品。記録映画。
42	悪魔の火球 ～長崎の原子爆弾炸裂の実写～	3分	「10フィート運動」を呼びかけた作品。長崎に投下された原子爆弾炸裂の瞬間をとらえた実写フィルム。解説ナレーション付き。
43	ヒロシマ・ナガサキ ～核戦争のもたらすもの～	46分	広島・長崎の原爆被爆体験は決して過去のものではない。核兵器が巨大化、高性能化した今日こそ、全世界の人に知ってもらわなければならない。長期にわたって苦しみつづける放射線傷害の実相は明日の核戦争への警告である。原爆被爆の総合像を描いた記録映画。文部省特選。教育映画祭最優秀作品賞
44	記録映画 もし、この地球を愛するなら	26分	核戦争の恐ろしさと現状を伝えるドキュメンタリー映画。日本語解説 渡辺美佐子
45	記録映画 生きるための証言 ～いま、ヒロシマから～	58分	この映画今まで39年間、語られることのなかった被爆者たちが、「今こそ、私たち被爆者が語らなければ減る!」「あの核の恐ろしさを伝えなければ死んでも死にきれません」と、その被爆体験と、現在までの生活を初めて語ったフィルムです。その内容は今まで明らかにされてない新事実もいくつか語られており、見る人に感動を呼びさし、核廃絶への決意を新たに訴える事でしよう。
46	ビキニの海は忘れない ～核の時代に生きる高校生の青春ドキュメント～	62分	長崎で被爆し、さらにビキニで被災したマグロ漁船員、カツオ船で実習後病死した室戸水産高校生白血球減少症でした。この二人の青年の謎に満ちた事件の解明は、私たちの三年にわたる調査が続けられました。アメリカのビキニ水爆実験で犠牲になったのは第五福竜丸だけではなくたのです。
47	夏服の少女たち ～ヒロシマ・昭和20年8月6日～(アニメ)	30分	学徒動員の作業中に被爆した広島第一高女の少女たち、残された日記をもとに少女たちのつかの間の青春を描き、残された親たちの思いを追う。
48	NHKスペシャル 映像記録史 太平洋戦争【前編】1941年～1943年	75分	ひそかに対米戦争の準備を整えていた日本軍は、ハワイ真珠湾を奇襲攻撃する。戦線は瞬く間に広がりアジア・太平洋全体に繰り上げられることとなった。アメリカに暗号を解読され日本軍がミッドウェー海戦、ガダルカナル島の攻防など、日本・アメリカ両国に残された記録映像を基に太平洋戦争の歴史をつづる。(1991年12月10日 NHKテレビ放送)
49	NHKスペシャル 映像記録史 太平洋戦争【後編】1943年～1945年	70分	1943年軍と政府は戦況の悪化をひた隠しにして、国民を総動員に駆り立てていた。圧倒的な量の物資を戦線に投入する米軍に対し、日本軍は武器も食料も欠乏し、絶望的な戦いを余儀なくされる。また戦場には、戦闘に巻き込まれた多くの民間人の悲劇的な姿があった。そんな無残な戦場の現実を、1945年8月15日の終戦までを記録映像でたどるドキュメンタリー。(1991年12月11日 NHKテレビ放送)
50	平成狸合戦ぽんぽこ(アニメ)	119分	東京・多摩丘陵。のんびりひそかに暮らしていたタヌキたちは、ある時、エサ場をめぐる縄張り争いを起こす。原因は人間による宅地造成のため、エサ場が減ってしまったから。このままでは住む土地さえ失くなってしまうと、タヌキたちは開発阻止を目論み、科学の発達した人間たちに対抗するため先祖伝来の「化け学」を復興させることとなった。
51	紅の豚(アニメ)	93分	第一次大戦時、イタリア空軍のエースパイロットだったポルコ・ロッソ。彼はある事がもとで自分に魔法をかけ、豚に姿を変えた。人は彼を「紅の豚」と呼んだ。今ではアドリア海にはびこる空賊を捕らえる賞金稼ぎ。
52	ビルマの堅琴	134分	ビルマ戦線で捕虜になった日本兵たちにも帰国の日が来た。が、同胞の霊を慰めるため一人帰らぬ水島上等兵がいた。僧衣に身をつつんだ水島上等兵の奏でる『殖生の宿』の堅琴は・・・平和と人間愛を描く日本文学の傑作の映画化。出演：石坂浩二、中井貴一、川谷拓三ほか
53	夢千代日記	128分	主人公の夢千代は母親の胎内にいたとき、広島で被爆した「被爆二世」。原爆症を発病しており、余命2年と宣告されている。物語はその夢千代を取り巻く人々の生き様を山陰の冬景色を背景に物悲しく描く。出演：吉永小百合、北大路欣也、小川真由美ほか
54	戦場のメリークリスマス	123分	英日米合作映画。第二次世界大戦下、ジャワ山中の日本軍俘虜収容所を舞台に、男たちの交流を描く。出演：デビッド・ボイ、坂本龍一、ビートたけし他
55	きけわだつみの声	107分	学徒出陣した若者の遺稿手記集として戦後最大のロングセラーとなっている『きけわだつみのこえ』を基に、第二次大戦中に青春を送った若者たちの生と死、そして友情を描いた1950(昭和25)年に東映京都が製作した戦争映画。
56	ひめゆりの塔	128分	太平洋戦争末期、全島が戦場と化した沖縄で、沖縄師範女子部と県立第一高女の生徒二百名は軍の命令により、特志看護婦として陸軍病院に配属された乙女たちのほかない青春を描いた1950(昭和28)年に東映東京が製作した映画。
57	交流は明日への架け橋 ～私たちの北方領土～	25分	
58	あの忘れない日 ～川崎大空襲1945年4月15日～	10分	
59	沖縄からのメッセージ ～平和への出発(Ⅰ)～	32分	沖縄県広報用ビデオ
60	沖縄からのメッセージ ～平和への出発(Ⅱ)～	35分	沖縄県広報用ビデオ

ビデオ (VHS) 一覧表

平成25年9月4日現在

番号	題名	所要時間	内容(概要)
61	那覇、明日への躍動(市制施行75周年)	32分	
62	沖縄の歴史と文化展	24分	
63	平和への胎動 ～世界大学生平和サミット1995～	60分	1995(平成7年)12月4日～6日、京都宝ヶ池プリンスホテル等を会場に開催された「世界大学生平和サミット1995」の様子を撮影したものの。
64	第57回、58回統一メーデー(川崎地区大会)	20分	第57回(昭和61年)、58回(昭和62年)統一メーデー川崎地区大会の様子を撮影したもの。
65	わたしたちが調べた戦争	9分	川崎市子ども平和映像祭・参加作品(平成7年度)
66	教えてよ、50年前のあの日 ～映像で知る戦争～	15分	川崎市子ども平和映像祭・参加作品(平成7年度)
67	今から50年前・わたしたちのまち、犬蔵にも戦争はあったか	15分	川崎市子ども平和映像祭・参加作品(平成7年度)
68	ぼくたちだってできるよ！ ～もう一つの戦争から～	15分	川崎市子ども平和映像祭・参加作品(平成7年度)
69	手紙にみる戦後50年	20分	川崎市子ども平和映像祭・参加作品(平成7年度)
70	平和を生きる私たち		川崎市子ども平和映像祭・参加作品(平成7年度)
71	PEACE FOREVER(ピース フォーエヴァー)	20分	川崎市子ども平和映像祭・参加作品(平成7年度)
72	子ども平和映像祭(平成7年10月27日～29日)	120分	総集編
73	川崎市平和館・館内ガイド(再生版)	20分	川崎市平和館の内容紹介ビデオ。あなたにとって戦争は/日本や日本人について/川崎市民と戦争/川崎大空襲/日本植民地政策と日中15年戦争/戦争の歴史/民族紛争とテロリズム/差別や貧困・戦争と平和・豊かさと貧しさ/ピカソのゲルニカ・一つの地球二つの世界」など。(平和館開館日:平成4(1992)年4月15日)
74	絶滅収容所 ～歴史と人間を考えるシリーズ～	20分	
75	エイジアンブルー浮島丸サンゴ	10分	
76	ひと・まち・新時代「永遠の平和を願って」	5分	平成7(1995)年9月30日、テレビ東京(12チャンネル)で放映されたもの。
77	長崎原爆資料館 ～平和は長崎から～	14分	長崎原爆資料館の館内紹介ビデオ
78	川崎特番「平和映像祭に挑戦」明日に語りつぐ平和	30分	平成7(1995)年11月23日、TVKテレビ(42チャンネル)で放映された、平成7年度広報特別番組「明日に語りつぐ平和」を録画したもの。
79	平和館		
80	平和都市宣言記念「市民のつどい(平成7年度)」	20分	平成7(1995)年8月15日に開催された平和都市宣言記念「市民のつどい」の様子を録画したもの。

ビデオ (VHS) 一覧表

平成25年9月4日現在

番号	題名	所要時間	内容(概要)
81	平和館・等々カアリーナ・国際交流センター	23分	
82	戦後50年学童疎開体験学習ツアー ～伊勢原市大山～	14分	平成7(1995)年8月21日～22日に実施された「戦後50年学童疎開体験学習ツアー(神奈川県伊勢原市大山にて)」の様子を録画したものの。
83	川崎子ども平和交流 ～沖縄県那覇市～	30分	平成9(1997)年2月12日～13日に実施された沖縄県那覇市と川崎市の子どもの平和交流事業の様子を録画したものの。
84	あらゆる人々がともに生きる地域社会をめざして～平成8年度川崎市子どもの人権推進協力者会議～	22分	平成8年度川崎市子どもの人権推進協力者会議の様子を録画したものの。
85	慟哭の証言 ～樺太引き揚げ三船殉難の記録～	110分	
86	つるのこって ～とも子の冒険～(アニメ)	27分	小学校6年生の元気な少女とも子は、夏休みのある日、広島原爆資料館を訪れました。とも子は平和公園で不思議な少女と出会いました。彼女の名前はサダコ。そして、サダコの案内でとも子の不思議な不思議な冒険が始まります。
87	火の鳥と出会う旅	15分	
88	忘れられた子供たち	102分	
89	いじめよ・とまれ！～心のケガには笑いの花を～	30分	小学生向けの教材ビデオ。ランキン・タクシーさんと、中島啓江さんが楽しいビデオ画面から「いじめ」を越えていく道を伝えている。
90	「子どもの権利条約」を子どもへ！～ランキン・タクシーとラップで歌おう～	30分	教材ビデオ。子どもの権利条約をわかりやすく説明しています。
91	ドメスティックバイオレンス どうして私を殴るのですか～妻や恋人への暴力は犯罪です～	25分	
92	明日への伝言 ～私たちは戦争を知らない～(熊本)	21分	焼夷弾、B-29、機銃掃射・・・熊本における戦災体験者の生の声を聴き、戦争を知らない子供たちがどう思っているのか、そして何をすべきかをいっしょに考えたい。このビデオは戦災の記憶を平和の祈りとして明日へと伝えるものです。
93	炎の証言 ～打ち続いた空襲～	30分	アメリカ軍の日本本土への攻撃は、昭和20(1945)年8月15日正午の玉音放送が始まる直前まで続き、一般市民だけでも数十万の方が犠牲になりました。このビデオは、今日の平和と繁栄の礎として、当時の証言を集めたものです。
94	炎の証言 ～最後の空襲～	30分	太平洋戦争終結宣言の直前、8月14日、15日にも連合軍のB-29爆撃機が次々と飛来し、全国20余都市を空襲した。その結果、多くの死傷者が出ました。これは、僅か数日を境に生死を分けた戦争の冷酷さ、悲惨さの記録です。被爆者、そして遺族の魂の嗚咽こそ、継承すべき平和の鎮魂歌です。
95	炎の証言 ～鎮魂の祈り～	30分	太平洋戦争が終わりを告げてから、半世紀が過ぎ去りました。しかし、両親や我が子、兄弟を目前で亡くされた人たちの無念と心痛は、今なお癒えることはありません。このビデオは、平和で豊かな今日にあっても、なお涙を流し続けている人たちが、鎮魂の祈りを捧げる思いで語った証言です。
96	ヒューマンライツ・シンフォニー 辰巳琢郎がご案内する、世界人権宣言と我が国の人権擁護機関	40分	世界中で基本的な人権の基準となっている「世界人権宣言」の重要性、そして、我が国における人権を保障するために、様々な活動を行っている法務省の人権擁護機関の役割。これらについて、人類の自由と博愛、そして平等をうたったベートーベンの交響曲第9番の調べに乗って、ビデオナビゲーター辰巳琢郎と一緒に考えていきます。
97	海外引揚者の証言 第1回 娘よ！～満州編～	30分	戦後、満州からの引揚者はおよそ100万人といわれる。当時少年だった父親から娘へ、戦争体験を語り平和の尊さを訴える。
98	シベリア強制抑留者の証言 第1回 望郷	30分	第2次世界大戦におけるいわゆる恩給欠格者、戦後強制抑留者及び引揚者の労苦に関する生きた証言を記録したもの。
99	軍人軍属短期在職者の証言 第1回 語り継ぐ労苦～フィリピン編～	30分	第2次世界大戦におけるいわゆる恩給欠格者、戦後強制抑留者及び引揚者の労苦に関する生きた証言を記録したもの。
100	欠番		

ビデオ (VHS) 一覧表

平成25年9月4日現在

番号	題名	所要時間	内容(概要)
101	欠番		
102	女たちが語るインド	47分	インド社会に深く根をはった貧困とカースト制度なかで、女性たちはこれまでもっとも弱い立場におかれてきました。しかし、社会を変える動きは、女性たちから始まっています。インド・グジャラート州を訪ね、女性たちの声を聞きました。
103	もうひとつの戦争 ～インドの人口政策と女性たち～	52分	インドの人口政策がもたらす新たな問題を女性たちのワークショップや医師へのインタビューを通して描き出すドキュメンタリー
104	平和の礎 ～語り継ぐ戦争体験の労苦～	30分	太平洋戦争末期、フィリピン・パター半島におけるアメリカ軍との激戦やレイテ決戦等の様子を、体験者の手記や生の声で綴り、戦争の労苦や悲劇を伝える。
105	NGOの挑戦 ～日本国際ボランティアセンター20年の歩み～	24分	特定非営利活動法人日本国際ボランティアセンターは、1980年インドシナ難民の救護をきっかけに誕生した、市民による国際協力団体(NGO)です。その活動の歩みを紹介するビデオ。
106	映像で紡ぐ「かわさきの20世紀」	38分	
107	債務の鎖をたちきるために	15分	世界の「貧困」の最大要因の一つとして挙げられるのは、途上国の返済不可能な「債務」です。タンザニアでは債務返済のために小学校が有料になり、多くの子どもたちが学校を追われました。アフリカの17ヶ国の就学率は1980年代より現在の方が低いのです。いま、もっとも貧しい国々の債務を帳消しにし、すべての人が人間らしく生きられる21世紀にしようという世界キャンペーンが行われています。
108	フィリピン農村開発 開発は人びとの手で	25分	NGOの挑戦シリーズビデオ。フィリピン最大のNGO、農村再建運動(PRRM)が実践する「持続可能な地域総合開発計画」を紹介する。世界で新しい流れとなりつつある、人々による社会発展の活動の視点について考えてみよう。
109	世界でいちばん新しい国 ～東ティモール独立と国際社会～	22分	1975年のインドネシアによる軍事侵襲以来、過酷な支配を受けてきた東ティモール。人びとは自由を閉ざされ、インドネシア支配に抵抗の声をあげれば拷問・虐殺が待っていました。その中で、粘り強い抵抗運動が続けられてきたのです。1999年8月30日、ついに住民投票で独立が選ばれました。しかし、その直後、インドネシア軍と民兵による虐殺、略奪がおきました。焦土と化し、ゼロからの出発となった東ティモール。国連や世界銀行、国際NGOなど、国際社会のさまざまな影響が一時になだれ込んでくる中で、人びとは、東ティモールの真の自立とは何か、民主主義とは何かを考え続けています。このビデオでは、住民投票後2年間の東ティモール社会の動きを追い、人びとの声を聞きました。
110	種子をままれ！ アグリビジネスとたたかうインド農民	30分	種や苗に企業の特許料がかかる。自分たちの種と食料、命を守るため立ち上がったインド農民女性たちの姿を描く。
111	明日への伝言 ～語りつぐもの～(岐阜・東京・川崎)	26分	56年前の“あの出来事”は、今を生きる私たちにはあまりに遠い。でもこれは忘れてはいけない、伝えていかねばいけない記憶なのだ。15歳の太塚露那が、失われつつある“空襲”の傷跡を、岐阜・東京・川崎にたずね、その思いを今に伝える。このビデオは震災の記憶を平和の祈りとして明日へと伝えるものです。
112	災害と心のケア	43分	講師デビッド・ロモ氏が自身の体験や実演を織りまぜながら、「災害と心のケア」の基礎をわかりやすく解説している。
113	「ダメ。ゼッタイ。君」の薬物乱用防止教育ビデオ「走れ！ダメ。ゼッタイ号！	20分	
114	「ダメ。ゼッタイ。」薬物乱用をノックアウト！	20分	
115	「ダメ。ゼッタイ。君」の薬物乱用防止「ダメ。ゼッタイ。」スクール	20分	
116	薬物乱用は、「ダメ。ゼッタイ。」(講演編)	20分	
117	薬物乱用は、「ダメ。ゼッタイ。」	20分	
118	みんなでチャレンジ！薬物乱用はダメ。ゼッタイ。	21分	
119	コカインの恐怖、人間の脳が直撃される	20分	
120	シンナー・インベーター ～触まれる心と身体～	20分	

ビデオ (VHS) 一覧表

平成25年9月4日現在

番号	題名	所要時間	内容(概要)
121	ことわる勇氣 ～シンナーの誘惑～	21分	
122	シンナーの恐怖 ～あなたの脳が溶ける～	20分	
123	恐ろしいシンナー・覚せい剤	22分	
124	シベリア強制抑留者の証言 歌声に救われた戦友たち ～ある国民歌手の軌跡をたずねて～	38分	シベリアで抑留され強制労働をさせられた人の中に、後に国民歌手といわれた人がいた。彼の現地での話を交えながらダモイ(掃国)を胸に強く生き抜こうとした人々の様子を描く。
125	海外引揚者の証言 遠き苦勞の道をたどって～満洲(現中国東北部)・朝鮮半島編～	30分	終戦直後の混乱期に、海外から命からがら引き揚げてきた人々の生々しい証言をもとに、実写やアニメ映像によりわかりやすく表現したものの。
126	薬物乱用防止ビデオ(中学生用) NO! 脳からの警告	24分	?
127	ドラッグの恐怖 ～むしばまれる若者たち～	31分	薬物に汚染された若者を救うために、直接若者の中に入り込み、彼らの更生や誘惑に満ちた社会の実態と現状の改善に取り組んだ7人の現職警察官のドキュメント。薬物汚染に対して、その現状と課題、そして改善のための方策を若者と共に考えていくのに最適な作品。
128	明日への伝言 ～私たちの町にも空襲があった～(仙台)	26分	“泣いてばかり悲しんでばかりいてはダメだ。これは死んでのと同じだ。それじゃ申し訳ないよ、死んだ坊やや夫に!” 昭和20年7月10日の仙台空襲で、家族全員を失いながらも、力強く生きてきたおばあさん。空襲の体験をもとに、若い世代に戦争の悲惨さを語る。このビデオは戦災の記憶を平和の祈りとして明日へと伝えるものです。
129	アフガニスタン難民 平和を知らない子どもたち	18分	米同時多発テロをきっかけに、2001年10月、米英軍がアフガニスタンを攻撃。戦火に包まれるアフガニスタンの様子とともに、アフガニスタン難民の存在がにわかにクローズアップされました。しかし彼らの悲劇は、今始まったものではありません。アフガニスタンでは20年以上にわたり戦争が続き、おびただしい数の人びとが祖国を捨て難民となることを余儀なくされました。このビデオは、戦乱に弄ばれ、誰からも救いの手を差し伸べられることのない人びとの様子を映像やインタビューを中心に描いている。
130	私たちの電気がアボリジニの大地を壊す Jabiluka(映画 ジャビルカ日本語版)	53分	自然の宝庫を舞台にして次々と明らかにされるウラン鉱山開発の秘話。それはアボリジニ達の抵抗が力でおねじふせられた歴史だった。しかし新たな鉱山開発に、今人々は敢然と立ち上がった。
131	軍人軍属短期に職者の証言 ～南十字星の下、戦跡に蘇る兵士の労苦～(ニューギニア・ガダルカナル編)	31分	俳優加藤武が、「平和の礎」を読んだことがきっかけで、ニューギニアやガダルカナルなどの南方の島々を訪れ、悲惨な戦争があった戦跡の現在(いま)を伝える。併せて当時の軍人の証言から、戦争を後世に語り継ぐことの大切さを訴える。
132	語り継ごう戦争体験の労苦と平和への祈り ～平和祈念展示資料館を訪ねて～	35分	平和祈念事業特別基金では、平和祈念展示資料館を東京に開設している。ここには今後の大戦におけるいわゆる恩給欠格者、戦後強制抑留者、引揚者等関係者の労苦について、広く国民の理解を得るため、常設展示場を設けている。その紹介ビデオである。
133	イラク戦争の真実 ～被害の実相とアメリカの戦略～	25分	マスメディアでは見られない未公開映像。世界で空前の規模で広がった反戦運動、国連の反対は無力だったのか。何のために、誰のために…アメリカの世界戦略に迫る忠実な同盟者として日本は有事法制で戦争に参加する…日本の進む道はどこに…
134	地雷を踏んだ象[モータラの物語]知っていますか? 地雷の被害	24分	森で人間といっしょに仕事をしてた象のモータラは、ある日地雷を踏んでしまった! 左の前足首が砕け散ってしまったモータラは、象の病院で大手術を受けることに…戦争や紛争が続いた東南アジア各地に埋め込まれた数千万個の「地雷」の犠牲者は人間だけでなく動物たちをもその犠牲者になっているのです。
135	明日への伝言 ～雨にぬれた碑(いしづみ)～(高松)	23分	高松空襲から58年が経ち、遺族の待ち望んだ慰霊碑が完成した。除幕の日には、静かな雨が降り続いていた。そこには、多くの名前が刻まれている…。このビデオは戦災の記憶を平和の祈りとして明日へと伝えるものです。
136	いつかこの木に見守られて ～赤井英和と高校生のタイ植林体験記～	25分	タイ・バンコクから車で約6時間。「子供の森」計画親善大使・赤井英和が次に向かった先は、かつて荒れ果てた大地だったスリン県。約20年もの歳月をかけて広がっていった森づくりに多くの人々の思いと紆余曲折があった。植林を通じて、もっと日本の子どもたちにも“自然を愛する心”を感じてもらおう! そんな思いを実現させるため、日本の高校生3人を連れて「子供の森」計画に臨んだ。
137	明日への伝言 ～ほむらいろの空～(富山)	25分	終戦間近の1945年8月2日未明、富山市は空襲に見舞われた… 戦後59年が経過し、空襲等による戦災の悲惨な記憶も風化しつつある今日、この啓発ビデオが語りべとなり、特に若い世代が平和の尊さについて考える。このビデオは戦災の記憶を平和の祈りとして明日へと伝えるものです。
138	どびらのうた ～演劇「東京新世界Ⅱ」の舞台裏～	45分	留学生と日本人のワークショップによる徹底取材とユニークな表現が好評の演劇「東京新世界」。その第2弾は、「子ども」をテーマに日本社会の「国際化」を鋭く問う。1998年11月、東京都文京区の三百人劇場で上演された「東京新世界Ⅱ」の制作過程を完全密着ドキュメント。
139	海外引揚者の証言 悲劇と労苦の地・樺太	30分	恩給欠格者、戦後強制抑留者及び引揚者等関係者の今の大戦における労苦について、広く国民の理解を得るため、当時の映像や関係者の証言を交えわかりやすく編集した啓発ビデオ(解説字幕入)
140	いっしょに歩こう ～豊かな国際化社会をめざして～	35分	「人権ってなあに」のビデオシリーズの5(移住外国人篇)。1980年代後半から多くの外国人が働く場を求め日本にやってきた。しかし低賃金、社会保障なしの劣悪で不安定な労働条件、そして企業や地域社会での根深い偏見や差別。様々な人権侵害のなかで外国人たちは自ら声を上げ、手を結び、日本社会の中で生きようとしている。そんな外国人をサポートする日本人、一緒に地域社会での共生の道を探ろうと模索する人々たち。「人種差別撤廃条約」が国連で採択されたのは1965年。しかし日本が批准したのはそれから30年後の1995年…

ビデオ (VHS) 一覧表

平成25年9月4日現在

番号	題名	所要時間	内容(概要)
141	The Filipino Migrants 移住者たち	65分	ヒューマン・ドキュメンタリー。人間はどこへ行っても人間だ。四つのエピソードに込められたフィリピン・マイグランツ(移住者)のメッセージ。あなたの隣に暮らす移住者たちの息づかいを聞く。
142	リトルヤングン物語 ～僕のとりのビルマ～	50分	東京都新宿区中井にあるビルマ人コミュニティ、通称「リトルヤングン」。そこは在日ビルマ人と近隣の日本人の暖かいふれあいが織りなす、もうひとつのふるさとだった。母国の内紛、文化、労働、医療、教育など、様々な課題を抱える在日ビルマ人。そのユニークでたくましい暮らしを等身大の視点で描く、新機軸のドキュメンタリー。
143	No one knows my broken dream ～APFSの歩みと活動～	45分	A. P. F. S創立15周年記念ビデオ。
144	明日への伝言 ～祈りかさねて 神戸60年目の記憶～	30分	60年前の神戸で空襲にあった人々の体験をつづりながら、空襲体験者の現在の取り組みを紹介します。このビデオは戦災の記憶を平和の祈りとして明日へと伝えるものです。
145	台湾原住民の声	32分	台湾に暮らす先住民は、生きる権利を求めるたかひのなかで、「原住民」という呼称で自らを呼ぶ。清の時代から日本の植民地時代、国民党時代を通じて、ことばや伝統、土地から名前まで奪われてきた彼らがいま声をあげ始めた。
146	もうひとつの戦争 ～インドの人口政策と女性たち～	55分	世界人口の急増は資源の枯渇を招くとされ、人口抑制のため国連などから援助を受けて人口政策を行っているインド。人口政策は、もっぱら女性の体を痛める手術によって行われている。人口政策がもたらす新たな問題を女性たちのワークショップや医師へのインタビューを通して描き出すドキュメンタリー
147	風の記憶 先住民抵抗の500年	55分	中米のグアテマラの人口950万人のうち約60%が先住民。コロンブスのアメリカ発見以来、500年にわたる苦難の歴史の始まりでした。差別と迫害は数多くの犠牲者を出しながら今なお続いている。生きる権利を勝ち取るためにたたかう先住民の姿を紹介。
148	働く子どもたち ～私たちの声をきいて！ブラジルの児童労働～	35分	働く子どもたち(5～14歳)は、いま世界全体で2億5000万人と推計され、その数は年々増えている。ブラジルでは10歳から14歳までの子ども約300万人が、生き抜くために働いている。この作品では、4人の子どもたちが、それぞれの仕事場や家族を紹介し、おとなへの批判や将来の夢を大いに語る！大人と子どものためのドキュメンタリー。
149	女たちが語るインド	47分	インド社会に深く根をはった貧困とカースト制度なかで、女性たちはこれまでもっとも弱い立場におかれてきました。しかし、社会を変える動きは、女性たちから始まっています。インド・グジャラート州を訪ね、女性たちの声を聞きました。第1部 働く女たち15分／第2部 息子がほしい15分／第3部 スラムに学校ができた17分
150	戦後強制抑留者の証言 シベリア抑留その足跡を訪ねて(イルクーツク～タイシエツト周辺)	30分	
151	戦後60年「戦争体験を語る・聞く」	50分	神奈川県伊勢原の大山へ学童疎開、軍需工場へ勤労働員、川崎大空襲などの戦争体験をした5名(黒田俊夫さん・横川郁子さん・西村和夫さん・立澤久子さん・畑和夫さん)の方から戦争体験の話を聞く。
152	火垂るの墓(アニメ)	88分	昭和20年夏、地を焦がす太陽、雨と爆弾が降る中、必死で生きる兄妹を描いたアニメ。大空襲で母親を失い兄妹の二人きりになって、親戚の家に世話になるがなじみず、池のほとりの横穴で二人だけの生活を始める。初めは楽しかったが周囲は冷たく、二人は死に追い込まれていく。
153	欠番		
154	明日への伝言 ふるさと・平和への調べ ～鹿児島 忘れがたき空襲の記憶～	30分	八回もの大きな空襲を受け、壊滅的な被害を受けた鹿児島市。降り注ぐ焼夷弾の雨、炎につつまれ、市内のほとんどが焼け野原となり、数多くの一般市民の命が奪われた… このビデオは戦災の記憶を平和の祈りとして明日へと伝えるものです。
155	明日への伝言 ～語りつぐ炎の記憶～	30分	私がセーラー服を着ていた頃、この街は焼け野原になった。悲劇は、広島/長崎/東京/沖縄だけではなかった。このビデオは戦災の記憶を平和の祈りとして明日へと伝えるものです。
156	TOMORROW/明日	105分	「TOMORROW/明日」は“今日”の続きとしての来るべき“明日”を迎えることができなかつた人々の物語です。1945年8月9日、長崎に原子爆弾が投下され、75000名の人々が爆死、街は一瞬に破壊された。この映画は、その前日の8月8日から爆弾投下直前までの長崎の庶民群像、死を運命づけられながらそれと知らない人々の日常ドラマを淡々と描いた作品です。1988年劇場公開作品。出演者:桃井かおり 南果歩 馬淵晴子 田中邦衛 原田芳雄 長門裕之など。